

Kodex chování Kaitumiskoodeks Code of Conduct Código de conducta Codice di condotta  
conduite Codice di condotta 行動規範 Magatartási kódex Gedragscode Ko  
postępowania Código de Conduta Codul de conduită Etický kódex spoločnosť  
deks ponašanja İş Etiği Yönetmeliği Кодекс за поведение Кодекс ділової е  
หลักปฏิบัติของ 行为准则 Verhaltenskodex Panduan Perilaku كودس لادعوى قاي  
chování Kaitumiskoodeks Code of Conduct Código de conducta Code de con  
Codice di condotta 行動規範 Magatartási kódex Gedragscode Kodeks postępow  
Código de Conduta Codul de conduită Etický kódex spoločnosti Kodeks ponaša  
Etiği Yönetmeliği Кодекс за поведение Кодекс ділової етики หลักปฏิบัติของ 行为  
Verhaltenskodex Panduan Perilaku كودس لادعوى قاي Kódex chování Kaitumiskoodeks  
Code of Conduct Código de conducta Code de conduite Codice di condotta 行動規範  
Magatartási kódex Gedragscode Kodeks postępowania Código de Conduta Codul  
de conduită Etický kódex spoločnosti Kodeks ponašanja İş Etiği Yönetmeliği Кодекс  
за поведение Кодекс ділової етики หลักปฏิบัติของ 行为准则 Verhaltenskodex Pan  
duan Perilaku كودس لادعوى قاي Kodex chování Kaitumiskoodeks Code of Conduct  
Código de conducta Code de conduite Codice di condotta 行動規範 Magatartási k  
odeks postępowania Código de Conduta Codul de conduită Etický kódex spoločnosti  
Kodeks ponašanja İş Etiği Yönetmeliği Кодекс за поведение Кодекс ділової е  
หลักปฏิบัติของ 行为准则 Verhaltenskodex Panduan Perilaku كودس لادعوى قاي  
Kódex chování Kaitumiskoodeks Code of Conduct Código de conducta Codice di condotta  
行動規範 Magatartási kódex Gedragscode Kodeks postępowania Código de Conduta  
Codul de conduită Etický kódex spoločnosti Kodeks ponašanja İş Etiği Yönetmeliği  
Кодекс за поведение Кодекс ділової етики หลักปฏิบัติของ 行为准则 Verhaltenskodex  
Panduan Perilaku كودس لادعوى قاي

BE SAFE,  
Not SORRY!

# グライナー行 動規範



日本語版：2025年3月

# 序文

「21世紀において成功し続けるためには、同族会社であるグライナーは、従業員やビジネスパートナーからの信頼と尊敬を維持しなければなりません。そのためには、高品質で革新的な製品とサービスだけでなく、グライナーの全従業員とビジネス・パートナーが、法令を遵守し、責任ある持続可能な行動をとることが必要です。”

”



**Saori Dubourg**  
CEO Greiner AG

「経営委員会メンバーとしての責任の一環として、私たちはコンプライアンスにに関して、我々自身の立場を明確かつ明白に位置づけたいと考えています。ファミリービジネスとして、コンプライアンスは単に法的な必要性だけでなく、私たちの企業理念と企業文化の中心的な要素なのです。”

”



**Hannes Moser**  
CFO Greiner AG

「新しい行動規範は、グライナーの従業員とすべてのビジネス・パートナーに、明確な指針と具体的な推奨行動を提供します。私たち全員が当社の価値観と法的要件に従って行動することを確実にするために、私たち一人一人は規則を知るだけでなく、積極的にそれを守り、他の人にもそれを奨励する責任があります。”

”



**Maximilian Wellner**  
Vice President Group Legal & Compliance

# 誠実さと持続可能性： 未来志向の行動指針



グライナーは、たゆまぬ革新と信頼の精神を特徴とする150年を超える会社の歴史を振り返ることができます。高いコンプライアンス基準、誠実さ、倫理原則の遵守は、グライナーとその事業部門であるグライナー・パッケージング、グライナー・バイオワン、NEVEONの取引関係の基礎を形成しています。

## グライナー行動規範の目的

行動規範の目的は、国内および国際的な基準に従って、責任ある企業としてのグライナーの行動指針を規定することです。グライナーは、適用されるすべての法律と基準を遵守し、汚職と賄賂を明確に拒否し、国際的な人権、労働、環境基準にコミットします。グライナーにとって、単なる法令遵守にとどまらず、倫理を実践し、他の人々やその権利、文化を尊重し、生態学的に持続可能な行動をとることも重要です。

国際的な規制や基準は、特に以下のような倫理的なビジネス慣行の実践において、グライナーをサポートしています：

- 国連の世界人権宣言
- 国際労働機関 (ILO) の中核的条約
- ビジネスと人権に関する国連指導原則 (UNGP)
- 多国籍企業のための責任ある企業行動に関する指針 (OECD)
- 国連グローバル・コンパクト (UNGC)

## グライナー行動規範は誰に適用されますか？

本行動規範は、全世界のグライナーの全従業員、臨時従業員、役員、常務取締役、取締役 (以下「従業員」) に適用されます。

本行動規範は、少なくとも支配的影響力 (過半数の株式保有または支配的影響力) を行使できるグライナー・グループのすべての会社を対象としています。グライナーはまた、行動規範がグライナーのすべてのビジネスパートナー、特にサプライヤー、コンサルタント、代理人、その他グライナーのために行動する認可された代理人 (以下「ビジネスパートナー」といいます) にも適用されるよう努めます。

グライナーは、本書に定める原則がグライナーの契約関係において確実に実施されることを目指します。

- 行動規範を参照し確認すること、または
- この行動規範で標準化されたガイドラインを明示的に認識し、ビジネスパートナーの同等の行動規範を参照することにより

が考慮されます。

行動規範は、グライナーの企業価値観に沿ったものである限り、特定の国や地域の法律、文化、慣習に適合させることができます。すべての適応はグライナーAGのグループコンプライアンスオフィサー

([office.compliance@greiner.com](mailto:office.compliance@greiner.com))の承認を得なければなりません。

## グライナー従業員による行動規範の遵守

本ガイドラインは、グライナーの行動原則を要約したものであり、日常業務における適切な行動と行為のための意思決定の助けとガイドラインとして、すべてのグライナー従業員に役立つことを意図しています。

## グライナーマネージャーによる行動規範の遵守

誠実さと遵守行動は、会社の経営陣から始まります。グライナーの管理職は、適用される法律や本行動規範の原則に違反することが、自らの責任範囲内で起こらないようにしなければなりません。グライナーは誠実な行動に基づいて業績を達成します。これには、管理職が日常業務における正しい行動の重要性を強調し、自ら模範を示すことも含まれます。また、グライナーにとって、管理職が定期的なチームミーティングなどを通じて、組織内でコンプライアンスの話題を積極的に推進し、この点に関する責任を自覚することも重要です。

## グライナーのビジネスパートナーによる行動規範の遵守

グライナーはまた、ビジネスパートナーが日々の事業活動において、責任を持って法律とこの行動規範のガイドラインに従って行動することを期待します。これは、ビジネスパートナーが下請け業者として第三者に委託する場合にも適用されます。この場合、ビジネスパートナーは本ガイドラインの遵守を徹底しなければなりません。

このことは、個々のガイドラインやその内容に明示されていない場合でも適用されます。

## 行動規範の違反

グライナーの従業員およびビジネスパートナーによる本行動規範の基本原則の違反は認められません。グライナーがそのような違反に気づいた場合、調査され、適切な措置が取られます。その範囲は、苦情や懲戒処分の共同是正から、取引関係や雇用の終了まで多岐にわたります。

## 違反の報告

グライナーは企業価値を守り、法的にも倫理的にも非の打ちどころのない行動をとることを約束します。これは従業員およびグライナーのビジネスパートナーにも期待されています。この行動規範の違反が確認された場合、指定された担当者(下記参照)への個人的な報告に加え、[tell-greiner.com](https://www.tell-greiner.com)の内部告発プラットフォームが利用可能です。通報はこのプラットフォームを通じていつでも(個人または匿名で)行うことができます。グライナーはすべての通報を調査し、必要であれば通報者の保護の下に適切な是正措置を開始することを約束します。さらなる詳細と情報は[tell-greiner.com](https://www.tell-greiner.com)でご覧いただけます。

## お問い合わせ

行動規範や違反の個人的な報告方法について質問がある場合、従業員は以下に連絡することができます。

- 各グライナー社のローカル・コンプライアンス・オフィサー (LCO)、
- 各グライナー事業部のディビジョン・コンプライアンス・オフィサー(DCO)、または
- グライナーのグループ・コンプライアンス・オフィサー (GCO) に連絡することができます。

これらの連絡先が不明な場合は、グライナーAGの法務・コンプライアンス部

([office.compliance@greiner.com](mailto:office.compliance@greiner.com)) に連絡することができます。

内部告発プラットフォーム [tell-greiner.com](https://www.tell-greiner.com) はビジネスパートナーと従業員が利用できます。

# 行動規範の10のガイドライン

1



グライナーは、すべての法的基準の遵守と価値観に基づく行動を約束します。

6



グライナーは汚職を否定します。

2



グライナーは従業員を尊重し、人権を尊重します。

7



グライナーは自社と他者の財産を責任を持って扱います。

3



グライナーは職場の安全衛生を保証します。

8



グライナーはビジネスと私益の分離を求めます。

4



グライナーは多様性、公平性、包括性に積極的に取り組んでいます。

9



グライナーは責任を持って個人情報を取り扱います。

5



グライナーは公正で自由な競争を約束します。

10



グライナーは持続可能な行動をとり、環境と気候の保護に取り組んでいます。



# 1

グライナーは、すべての法的基準の遵守と価値観に基づく行動を約束します。

グライナーは常に法律を遵守して行動します。この行動規範は、グライナーの従業員が日常業務において、法令を遵守し、誠実で倫理的に健全な判断を下すためのガイドとなり、サポートします。さらにグライナーは、この行動規範をグライナーのビジネスパートナーに対する拘束力のあるガイドラインとして確立することを目指しています。

### グライナーはいかなる法律違反も容認しません。

法律と認められた基準の厳格な遵守は、グライナーの従業員とビジネスパートナーに、競争法と独占禁止法の遵守、汚職とマネーロンダリングの厳禁、税務と輸出管理規制の遵守、必要な公的許可の取得、第三者の権利の尊重などを義務付ける行動の基本原則です。グライナーとそのビジネスパートナーの従業員は、それぞれの活動分野で適用される法律を遵守する責任があります。また、合法性、責任、公正さについて、自らの行動を継続的に見直すことが必要です。

グライナーの従業員がこれらの側面に関してどのような判断を下すべきか不明な場合は、いつでも上司、ローカルコンプライアンスオフィサー、グライナー各部門の部門コンプライアンスオフィサー、グループコンプライアンスオフィサー、またはグライナーAGの法務・コンプライアンス部門に連絡することができます。

### グライナーは当局と建設的に協力します

グライナーはすべての管轄当局およびその他の主権機関と協力的で透明な関係を維持します。

グライナーは、調査やその他の公的活動において、法的に規定された手続きを遵守することを非常に重視しています。手続き上の権利の行使は、当局との取引において不可欠かつ合法的な部分です。

この観点から、グライナーの従業員は、当局、特に監督当局や調査当局と接する際には、より一層の注意を払わなければなりません。法的問題が発生した場合、従業員はグライナーAGの法務・コンプライアンス部門に連絡する義務があります。

### 税務および税関コンプライアンス

グライナーは報告・開示義務と同様に、適用されるすべての税法と関税法を遵守します。グライナーは国際的に認められたグループ内サービス関係の移転価格原則に従い、積極的な税務計画や構造化には関与しません。グライナーの従業員は、税務と関税の遵守がグライナーの重要な企業責任であることを保証するために協力しています。

### マネーロンダリングと不正行為の厳格な禁止

グライナーは従業員に対し、マネーロンダリングと詐欺を防止するため、関連する法的義務を遵守するよう求めています。

### 制裁規制と貿易制限の遵守

グライナーは、適用される制裁規制および一般的な輸出入規制を遵守します。

### 会計と報告

グライナーのすべての記録と報告は、正確かつ真実でなければなりません。適正会計の原則に従い、データ入力やその他の記録は常に完全で正確でなければならず、またタイムリーでシステムに準拠していなければなりません。





# 2

グライナーは従業員を尊重し、人権を尊重します。

## 社員の尊重

グライナーは従業員を事業発展に不可欠なパートナーとして尊重しています。これは特に以下の原則の遵守に顕著であり、グライナーはビジネスパートナーにもその遵守を求めます。

## 人権の尊重

人権の尊重は現代社会の基本的要素です。グライナーは事業活動において人権を優先することを約束します。グライナーはいかなる人権侵害も断固として拒否します。

人権の尊重と保護には、特に公正な労働条件の保証、強制労働と児童労働の拒否、意見と言論の自由の支持、グライナー従業員とビジネスパートナーのプライバシーの保護が含まれます。

## 労働法規制の遵守

グライナーは、適用されるすべての労働・社会法規を遵守することを約束します。特に、違法労働、強制労働、奴隷労働、児童労働を容認せず、公正な報酬方針を遵守することが重要です。

従業員の最低年齢は、国の最低雇用年齢に対応していなければなりません。

また、従業員の身分証明書の差し押さえも許されないこととは言うまでもありません。グライナーは規制労働時間、最大許容労働時間の遵守、健全なワーク・ライフ・バランスに注意を払っています。

## 結社、対話、共同決定の自由

グライナーは多様性を歓迎し、社会的対話と開かれたコミュニケーションの文化を促進します。グライナー従業員の結社の自由と団体交渉の権利は尊重されなければなりません。従業員には差別なく労働組合を結成し、自ら選択した労働組合に加入し、従業員に代わって使用者と団体交渉を行う権利があります。

さらに、従業員代表は差別されてはなりません。権利の行使、苦情の暴露、労働組合活動への参加、違反の疑いのある行為の報告に対する報復として、雇用契約を打ち切られてはなりません。





# 3

グライナーは職場の安全衛生を保証します。

## 職場の安全衛生

グライナーとそのビジネスパートナーは、従業員と社会に対して大きな責任を負っています。健康上の危険を避けるため、労働安全衛生規則は常に遵守されなければなりません。同時に、グライナーは積極的な健康増進に取り組んでいます。

グライナーは職場の健康と安全に関して適用される法的要件を遵守しています。グライナーは安全上の欠陥を特定し、是正するために積極的に取り組みます。職場環境は、全従業員の健康と安全を確保・保護するために継続的に改善されています。

グライナーは、リスクの特定と評価、保護手段の開発、訓練プログラム、個人用保護具の提供など、幅広い対策を採用しています。

さまざまな原則と対策は、グループ全体の安全衛生方針に詳しく記載されています。

## 継続的改善

グライナーは労働条件の継続的改善に努めています。これには、労働安全ガイドラインの定期的な見直しと更新、リスクと最適化の可能性の構造的な特定、責任の明確化などが含まれます。グライナーの従業員はこのプロセスに積極的に参加し、労働安全衛生を改善するための提案をするよう奨励されています。また、常に危険な場所やリスクのある場所から離れ、互いに注意し合うことも求められています。そして、誰もが安全だと感じられる職場環境を作ることを目指します。





# 4

グライナーは多様性、公平性、包括性に積極的に取り組んでいます。

責任あるファミリービジネスとして、グライナーは社内外を問わず、すべての人の意見を聞き、尊重し、大切にオープンで包括的な環境を約束します。個人の尊厳、プライバシー、個人の権利は尊重されなければなりません。グライナーは、社員とビジネス・パートナーの両方からこれを期待します。

### 差別とハラスメントを許さない

グライナーはあらゆる形態の差別、ハラスメント、いじめを例外なく拒否します。すべての人は公平かつ敬意を持って扱われなければなりません。これはプロとしてのキャリア全体を通じて適用されます。この観点から、グライナーは適用されるすべての基準と法律を遵守します。これらの原則を強調し、明確なコミットメントを示すために、グライナーは国連の女性のエンパワーメント原則や多様性憲章などの包括的なネットワークやイニシアチブを支援しています。

### 機会均等の推進

いかなる人も、性別、年齢、出身、社会的地位、性的指向、宗教、思想、精神的・身体的能力などの個人的特徴を理由に、不利益を受けたり、嫌がらせを受けたり、優遇されたりしてはならない。誰もがこのようなことから保護され、不祥事を(必要であれば匿名で)報告する権利を有します。この観点から、グライナーは管理職がその役割モデルとしての機能を十分に果たすことを期待しています。





# 5

グライナーは公正で自由な競争を約束します。

すべてのグライナーの利害関係者の信頼を維持し促進するために、すべての事業活動が公正で倫理的かつ透明性のある方法で行われることは、グライナーの基本的な理解です。また、グライナーはビジネスパートナーにもこれを求めます。

### 競争法および独占禁止法の遵守

グライナーは自由市場と公正な競争の促進に尽力し、適用されるすべての競争規則を遵守します。

競争に悪影響を及ぼす可能性のある競合他社間の行動は禁止されています。これには特に、地域や顧客の割り当て、価格や価格構成要素、供給関係やその条件、能力や供給行動に関する合意や情報交換が含まれます。市場戦略や参加戦略に関する情報交換も同様です。書面による合意だけでなく、口頭での合意や暗黙のうちに合意された行動も禁止されます。

グライナーとその従業員は、反競争的、独占的、または不公正な商慣行、特にカルテルに、直接的または間接的に参加しないことは当然のことです。

### 透明性のあるサプライヤーおよび顧客関係

顧客および/またはサプライヤーとの契約は常に完全かつ明確に行われ、文書化されます。サプライヤーは、提供される製品やサービスの価格、品質、性能、適合性が比較された後、客観的な基準に基づいてのみ選定されます。

可能な限り、意思決定プロセスにおいて、環境的・社会的基準も考慮すること。

### 適用される法律がない場合の行動基準

グライナーは、競争法が適用されない国においても、反競争的または競争歪曲的な慣行を適用しません。





# 6

グライナーは汚職を否定します。

汚職とは、私利私欲のために不当な便宜を与えたり、受け入れたりすることです。

グライナーは汚職を容認せず、公正で倫理的な方法でのみ事業を行い、贈収賄を慎み、公務員（定義については下記を参照）に対して許可されない方法で行動せず、汚職を防止するために適用されるすべての国内および国際規制（英国贈収賄法、米国海外腐敗行為防止法等）を遵守することを約束します。

また、グライナーはビジネスパートナーにもこれを求めます。

### 利益の勧誘または受領の禁止

グライナーの従業員は、取引のある企業や個人から贈答品やその他の利益を受け取ったり、提供したりしてはなりません。この規則の例外は、一般的な商習慣に沿った臨時の贈答品、慣習的なもてなし、または当初からビジネス上の意思決定に影響を与えることができない価値の低いその他の利益です。前提条件として、これらの贈答がそれぞれの国内法規定のもとで許容されていることが常に必要です。また、それ自体は許容される個々の利益の合計も、比例性テストにおいて評価されなければならないことに留意すべきです。

金銭（または引換券のような現金以外の利益）の申し出、付与、要求、受領は常に禁止されています。

第三者との契約、発注書、コンサルタント契約は、不正な支払いやその他の不当な便宜を受け取ったり提供したりする手段として使用してはなりません。

賄賂やその他の不当な利益を、直接的にも間接的にも、誰に対しても申し出たり、約束したり、与えたりしてはなりません。

### どのような人物が公務員となるのか？

グライナーが事業を展開している国では、異なる規制が適用されます。従って、「公務員」という用語の定義も異なる場合があります。グライナーは現地の定義に従うことを約束します。以下の「公務員」の定義は、あなたが公務員に正しく対処できるようにするためのものです：公務員とは、政治家、公務員、裁判官、公的機関の職員、公立大学の教授、病院や試験機関などの公的機関の職員など、主権的な職務を遂行する人を指します。

### 公務員に対する行動

公務員に対し、現金給付その他の便宜を供与してはなりません。

便益とは、例えば、現金の支払い、バウチャー（現金以外の便益）、貴重品、サービス、イベントやレストランへの招待、就職斡旋、栄誉の授与など、受領者を有利にする、あるいは受領者にとって有益な便益のことです。

個人的利益は、公務員の関係者（親族など）への利益ともみなされます。

### その他の) 違法な利益の禁止

グライナーとその従業員は、公職の候補者や政党その他の政治団体に違法な寄付を行いません。すべての寄付は、関連法制度の開示要件に従わなければなりません。





# 7

グライナーは自社と他者の財産を責任を持って扱います。

グライナとそのビジネスパートナーの財産の取り扱い、グライナの信頼性を維持するために極めて重要です。

グライナーの財産には、ビジネス情報、ビジネスおよび企業秘密、専門知識、工業所有権などの有形(物的)および無形(非物的)資産が含まれます。これには発明や特許も含まれ、これらはグライナーの長期的成功にとって特に重要です。

### 会社財産の尊重

グライナーの全従業員は、グライナーとそのビジネスパートナーの会社財産を責任を持って扱い、雇用主が期待する方法で行動します。破損や紛失は直ちに担当部署に報告し、疑わしい場合はグライナーAGの法務・コンプライアンス部に報告しなければなりません。

### 第三者の知的財産の守秘義務と責任ある取り扱い

グライナーの機密情報、営業秘密、企業秘密は守らなければなりません。この義務は、グライナーのビジネスパートナーおよび元従業員にも適用されます。

秘密情報とは、公に知られていないグライナーのすべての内部情報、データ、事項を指します。グライナーのビジネスパートナーの非公開情報も、法令および/または契約規定に従って保護されなければなりません。

第三者の知識は、法律で認められている範囲内、または公的情報源から知られている範囲内においてのみ、グライナーが使用することができます。第三者の工業所有権(特許、商標など)は尊重されなければならず、それぞれの所有権者の同意がある場合にのみ使用することができます。





# 8

グライナーはビジネスと私益の分離を求めます。

従業員の私的利益とグライナーの利益は厳密に分離されなければなりません。また、グライナーはビジネスパートナーにもこれを求めます。

職業活動の過程で得た情報を私的に商業利用することは禁じられています(「インサイダー情報の取引」を含みますが、これに限定されません)。

### 利益相反の回避

職業上の利益と私的な利益との衝突は避けなければなりません。それが不可能な場合、利益相反は担当マネージャーに開示されなければなりません。そのような場合、グライナーの従業員は、相反する活動を継続する前に、責任経営者の事前の書面による同意を得なければなりません。

グライナーは、事業活動が個人的な関係や利害によって左右されることを認めません。むしろ、特に契約の締結を含む決定は、健全な事実に基づき、公平性の原則に従ってのみ行われます。副業活動は、既存の雇用関係を損なうものであってはなりません。

### 私的領域およびソーシャルメディアにおける行動

グライナーの従業員は、私的領域における否定的な行動もまた、グライナーに有害な影響を及ぼす可能性があることを認識しなければなりません。ソーシャル・メディアの使用またはソーシャル・メディアを介したコミュニケーションは、従業員の個人的な意見のみを反映することができます。会社に関する公式な発言は、グライナーの経営陣または明確に権限を与えられた者、例えばコミュニケーション部門の責任です。このため、グライナーのロゴ(またはその他のグライナーの識別機能)を無断で使用することも禁じられており、事前にグライナーの同意を得なければなりません(疑問がある場合は、グライナーAGのコミュニケーション部門にお問い合わせください)。





# 9

グライナーは責任を持って個人情報を取り扱います。

グライナーの全従業員およびビジネスパートナーは、グライナーが個人の権利を尊重することを信頼することができます。グライナーはビジネスパートナーにも同様のことを求めます。グライナーは、適用されるすべての国内および国際的なデータ保護規制を遵守し、適切なデータセキュリティ対策を講じることを約束します。

### データ処理の合法性

グライナーは、法律で許可され、かつグライナーの内部目的に必要な範囲でのみ、個人データを収集、処理または使用します。

グライナーは、特にデータの使用に関する明確な情報を提供することにより、データ主体の権利を尊重します。

個人データは安全に、必要な期間のみ保存しなければなりません。個人情報には、十分な注意をもってのみ譲渡することができます。必要に応じて、グライナーは協力パートナーとの間で適切な契約を締結し、彼らがデータ保護規則を遵守するようにします。データの品質および不正アクセスに対する技術的保護に関しては、高い水準が確保さ

れなければなりません。技術設計とデータ保護に配慮した初期設定によるデータ保護は、調達と開発プロセスにおいてすでに考慮されています。

### 明確なプロセスと包括的なトレーニング

グライナーは、データ保護違反の報告および対応のための明確な手順も確立しています。

グライナーは、従業員がデータ保護方針と手順を理解し遵守するよう、定期的な研修と意識向上策を実施しています。

様々な原則と対策は、グループ全体のデータ保護方針の中で詳しく説明されています。





# 10

グライナーは持続可能な行動をとり、環境と気候の保護に取り組んでいます。

グライナーは、環境保護のための国内および国際的な規制を遵守することを約束します。気候危機に関連して、グライナーは科学的に認められた目標、いわゆる「科学に基づく目標」を設定しました。グライナーは持続可能な行動を心がけるとともに、ビジネスパートナーに対しても、気候や環境を保護するための具体的な対策を講じ、国内および国際的な規制や基準を遵守するよう求めています。

グライナーの従業員は、環境に優しい技術や製品の開発・普及を支援し、気候を保護するための対策やイノベーションを推進するよう求められています。

### 環境保護

グライナーは脱炭素、循環型経済、資源効率といった問題を非常に重視しています。そのため、製品の開発・製造やその他の活動において、温室効果ガスやその他の有害な排出を最小限に抑え、エネルギー、水、材料などの資源の消費を削減するよう配慮しています。

さらに、再生可能な資源は可能な限り利用し、製品やその製造によって引き起こされる健康や環境への被害は回避する。その重要な例が、健康に有害な物質の不使用である。

### 水

水に関して、グライナーは従業員が責任を持ってこの資源を使用することを期待します。これは、水消費量や水使用の種類と強度が重要であり、したがって環境に関連するパラメータである会社の領域において、とりわけ適用されます。水不足や水ストレスを特徴とする地域でも同様です。

### 廃棄物とリサイクル

製品の開発、製造、使用段階やその他の活動において、グライナーは廃棄物の回避、再利用、リサイクル、残留廃棄物の安全で環境に優しい処分を考慮に入れています。廃棄物は常に適切に処理され、認定業者によって処理されなければなりません。

### 責任ある調達

グライナーは、紛争地域やリスクの高い地域で生産または採掘された原材料や、人権を侵害する武装集団に資金を提供する原材料を製品に使用しないことを保証します。さらに、グライナーは、技術的に可能であり、かつ／または経済的に実行可能である場合には、EcoVadis認証を持つビジネスパートナーやリサイクル製品を優先することで、責任ある調達に取り組んでいます。



# 結びの言葉

この行動規範に定められた原則は、グライナーの企業価値観に由来するものです。従って、グライナーにとって、これらの規則がすべての対象グループによって理解され、実践され、遵守されることが最も重要です。適用される法律と行動規範の遵守は、グライナーの全組織単位で定期的に見直されなければなりません。

グライナーの全従業員には必要なトレーニングが提供され、日々の業務において、グライナーの全従業員が安心してグライナー・コンプライアンス・オフィサー ([office.compliance@greiner.com](mailto:office.compliance@greiner.com)) に質問や問題を相談できるように配慮されています。

## 質問は？

グライナーの従業員として、以下の連絡先まで遠慮なくご連絡ください。

- 各グライナー社の現地コンプライアンス・オフィサー(LCO)
- 各グライナー事業部のディビジョン・コンプライアンス・オフィサー(DCO)、または
- グライナー・グループ・コンプライアンス・オフィサー(GCO)

までご連絡ください。

さらに、グライナーのコンプライアンス・チームは、ビジネス・パートナーからいつでも電子メールアドレス ([office.compliance@greiner.com](mailto:office.compliance@greiner.com)) に連絡することもできます。

内部告発プラットフォーム [tell-greiner.com](https://tell-greiner.com) もご利用いただけます。

ダイバーシティ、フェアネス、インクルージョンに関するご質問は、[diversity@greiner.com](mailto:diversity@greiner.com)。

グライナーのサステナビリティ・チームは、サステナビリティの問題に関して [sustainability@greiner.com](mailto:sustainability@greiner.com)。

# ビジネスパートナーの皆様へ

ビジネスパートナーは、以下の事項を確認します。

- 本行動規範の内容または
- 少なくとも本行動規範で標準化されたガイドライン（同等の行動規範が存在する場合、グライナーが書面にて同等性を確認する必要があります。）

そして

- 適用されるすべての有効な法律、特に1977年米国海外腐敗行為防止法（改正後）および適用される独占禁止法、競争法、腐敗防止法を遵守すること。

これらの法律を遵守すること。

グライナーは、本行動規範の条項および適用されるすべての法律および規制が遵守されていることを、営業時間中に自らまたは第三者を通じて、ビジネスパートナーの敷地内で確認する権利を有します。グライナーはその費用を負担するものとします。ビジネスパートナーの企業秘密および営業秘密は保護されるものとします。

違反があった場合、グライナーは書面による通知により、ビジネスパートナーとの既存の取引関係または契約をいつでも即時に終了させる権利を留保します。

---

確認

---

場所、日付

---

会社名

---

会社名

